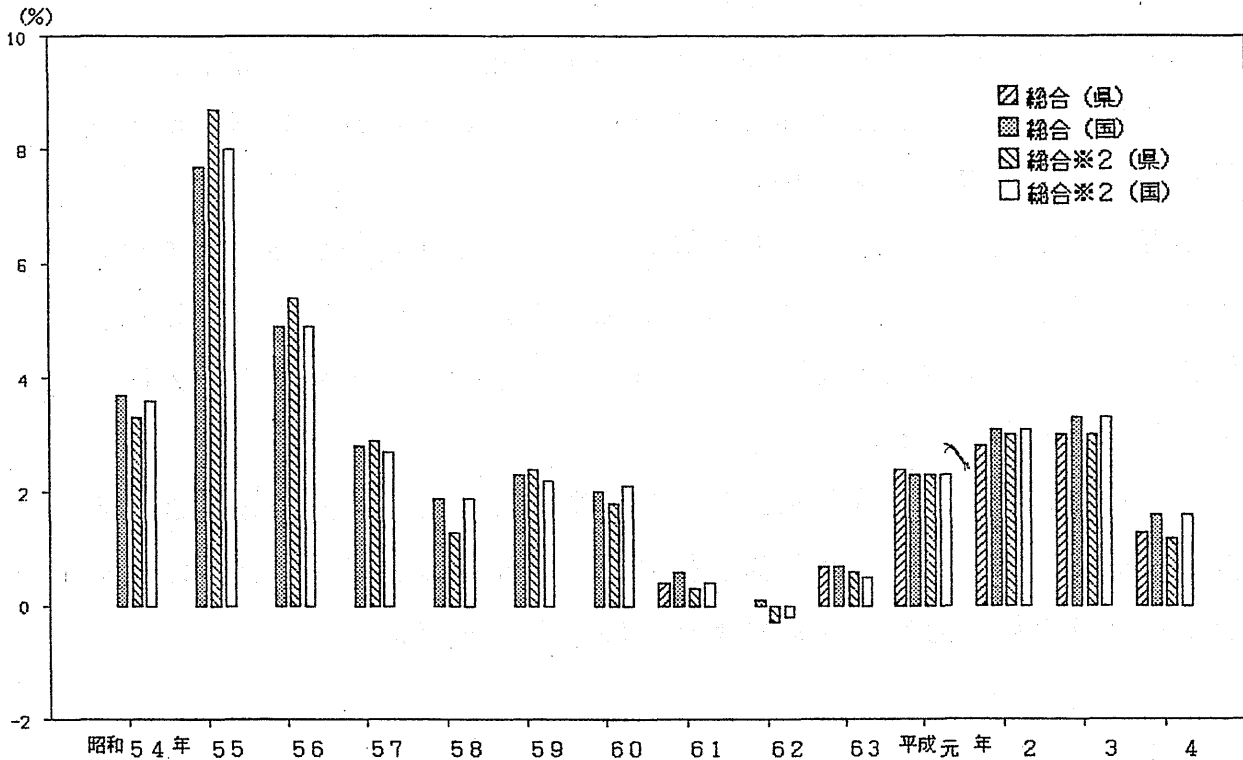


平成4年平均三重県消費者物価指数の動向

図1 消費者物価指数対前年上昇率（60年以前は県の総合は持家の帰属家賃を除く総合のみ）



※ 持家の帰属家賃を除く総合

1. 概 要

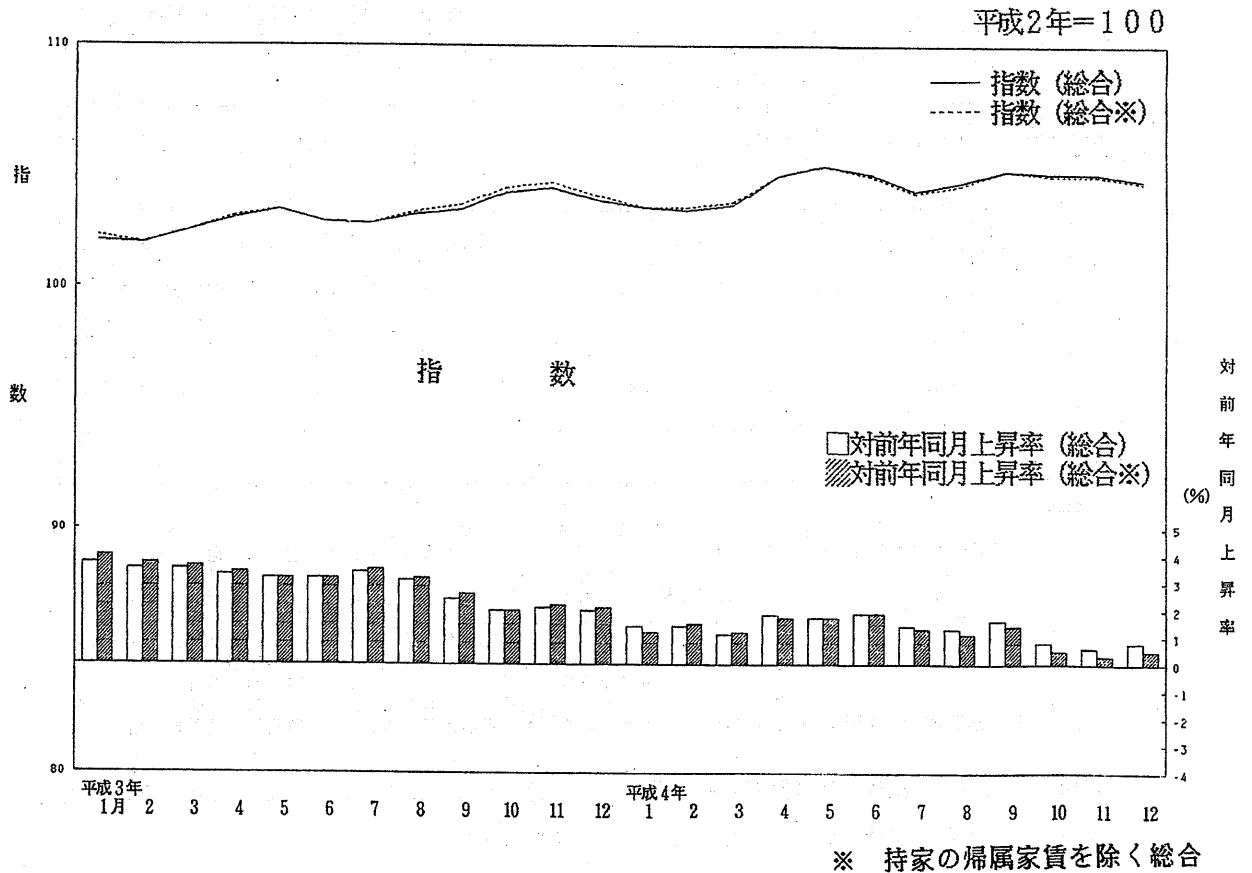
県…… 平成4年平均三重県消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数で104.3となり、前年に比べ(+)1.3%の上昇となった。

持家の帰属家賃を除く総合指数は104.2となり、前年に比べ(+)1.2%の上昇となった。

最近の総合指数の対前年上昇率の推移をみると、昭和61年(+)0.4%、62年(±)0.0%、63年(+)0.7%と3年連続して1%未満の上昇で極めて安定した動きで推移してきた。しかし、平成元年は4月から消費税が導入されたこともあって(+)2.4%の上昇となった後、2年は(+)2.8%、3年は(+)3.0%と上昇幅が拡大してきたが、4年は(+)1.3%の上昇と安定した動きをしている。

国…… 平成4年平均全国消費者物価指数は、平成2年を100とした総合指数で105.0で、前年に比べ(+)1.6%の上昇となり、前年の上昇幅(+)3.3%から1.7ポイント縮小した。

図2 月別の動向



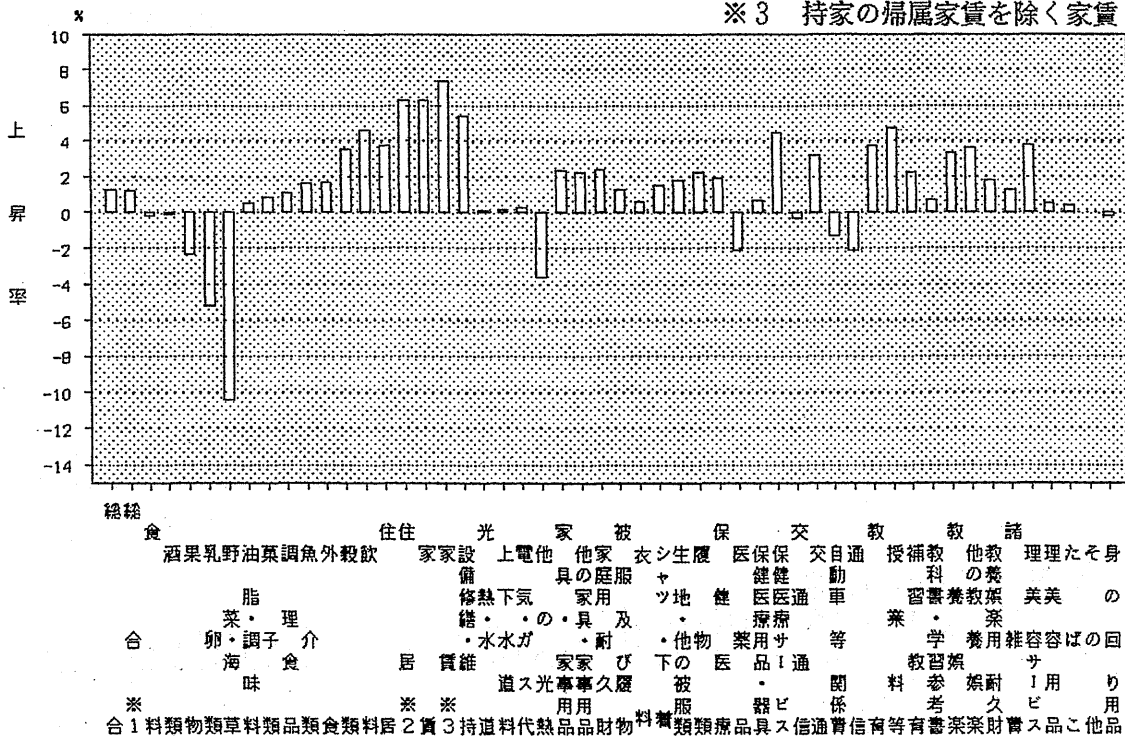
2. 年間の動き

平成4年の消費者物価指数（総合指数）の動きを対前月上昇率で見ると、次のとおりである。

- 1月……果物、魚介類、家賃、履物類などが値上がりしたものの、衣料、シャツ・下着、乳卵類などが値下がりしたため（-）0.3%の下落。
- 2月……果物、身の回り用品、教養娯楽用耐久財などが値上がりしたものの、他の光熱、野菜・海草、シャツ・下着、家賃、衣料が値下がりしたため（-）0.1%の下落。
- 3月……果物、身の回り用品、魚介類などが値下がりしたものの、衣料、飲料、野菜・海草、肉類などが値上がりしたため（+）0.2%の上昇。
- 4月……乳卵類、他の光熱、履物類、自動車等関係費などが値下がりしたものの、野菜・海草、シャツ・下着、衣料、授業料等などが値上がりしたため（+）1.2%の上昇。
- 5月……野菜・海草、油脂・調味料、魚介類などが値下がりしたものの、果物、シャツ・下着、衣料、設備修繕・維持などが値上がりしたため（+）0.4%の上昇。
- 6月……保健医療用品器具、保健医療サービス、油脂・調味料、調理食品などが値上がりしたものの、果物、魚介類、衣料などが値下がりしたため（-）0.3%の下落。

図3 中分類別対前年上昇率

※1 持家の帰属家賃を除く総合
 ※2 持家の帰属家賃を除く住居
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃



- 7月……穀類、設備修繕・維持、保健医療用品・器具などが値上がりしたものの、果物、野菜・海草、衣料、シャツ・下着などが値下がりしたため(-)0.7%の下落。
- 8月……衣料、シャツ・下着、乳卵類などが値下がりしたものの、果物、魚介類、野菜・海草、他の教養娯楽などが値上がりしたため(+)0.3%の上昇。
- 9月……果物、魚介類、他の教養娯楽、交通などが値下がりしたものの、衣料、シャツ・下着、野菜・海草、乳卵類、授業料等などが値上がりしたため(+)0.5%の上昇。
- 10月……シャツ・下着、他の光熱、衣料、魚介類などが値上がりしたものの、野菜・海草、油脂・調味料、他の教養娯楽、穀類などが値下がりしたため(-)0.1%の下落。
- 11月……果物、野菜・海草、家庭用耐久財、シャツ・下着などが値下がりしたものの、乳卵類、自動車等関係費、穀類などが値上がりしたため前年と変わらなかった。
- 12月……他の光熱、他の教養娯楽、乳卵類、外食、電気ガス代などが値上がりしたものの、果物、野菜・海草、衣料、シャツ・下着などが値下がりしたため(-)0.3%の下落。

3. 費目別指数の動き

費目別に前年からの動きをみると、次のとおりである。

- 食料は103.7となり、3年平均に比べ(-)0.2%下落した。
 内訳をみると、魚介類は、生鮮魚介のホタテガイ、イカ、イワシ、サンマなどが値下がりしたものの、カツオ、ブリ、カレイ、カキなどが値上がりし、また、いか燻製、カマボコなども値上がりしたため

- (+) 1. 6%の上昇となっている。野菜・海草は生鮮野菜のキャベツ、白菜、レタス、カブなどの値下がりにより(-) 10. 4%の下落となっている。果物は、生鮮果物のキウイフルーツ、りんご(ふじ)が値上がりしたものの、アンデスメロン、オレンジ、カキなどの値下がりにより(-) 2. 3%の下落となっている。穀類がもち米、もちなどの値上がりにより(+) 3. 5%、肉類がレバー、牛肉コンビーフ缶詰などの値上がりにより(+) 0. 7%、乳卵類が鶏卵、バターなどの値下がりにより(-) 5. 2%、油脂・調味料が食塩、液体調味料などの値上がりにより(+) 0. 5%、菓子類がアメ、ビスケット、かわらせんべい、ヨウカンなどの値上がりにより(+) 0. 9%、食料品がコロケ、ギョウザなどの値上がりにより(+) 1. 1%、飲料が乳酸菌飲料、紅茶などの値上がりにより(+) 4. 6%、酒類が清酒の値下がりにより(-) 0. 1%、外食がお子様ランチ、のりまき寿司、などの値上がりにより(+) 1. 7%の上昇となっている。
- 住居は106. 5となり、3年平均に比べ(+) 3. 7%の上昇となった。
内訳をみると、家賃が民営家賃、公営家賃などの値上がりにより(+) 3. 3%、設備修繕・維持が左官手間代、塀工事費などの値上がりにより(+) 5. 4%の上昇となっている。
- 光熱・水道は105. 1となり、3年平均に比べ(+) 0. 1%の上昇となった。
内訳をみると、電気・ガス代がプロパンガスなどの値上がりにより(+) 0. 3%、他の光熱が灯油の値下がりにより(-) 3. 6%、上下水道料が水道料の値上がりにより(+) 0. 2%の上昇となっている。
- 家具・家事用品は103. 5となり、3年平均に比べ(+) 2. 3%の上昇となった。
内訳をみると、家庭用耐久財は電子レンジ、ミシンなどの値上がりにより(+) 2. 4%と上昇したものの、他の家具・家事用品が上敷ござ、タワシなどの値上がりにより(+) 2. 2%の上昇となっている。
- 被服及び履物は105. 1となり、3年平均に比べ(+) 1. 3%の上昇となった。
内訳をみると、衣料がスーツ(夏物)、女子学生服などの値上がりにより(+) 0. 6%、シャツ・下着がスポーツシャツ(半袖)、子供セーターなどの値上がりにより(+) 1. 5%、履物類が婦人サンダル、子供靴などの値上がりにより(+) 2. 2%、生地・他の被服類が糸、ベルトなどの値上がりにより(+) 1. 8%の上昇となっている。
- 保健医療は102. 9となり、3年平均に比べ(+) 1. 9%の上昇となった。
内訳をみると、医薬品が浴用剤、総合胃腸剤などの値下がりにより(-) 2. 1%、保健医療用品・器具、体温計、ガーゼつきバンソウコウなどの値上がりにより(+) 0. 7%、保健医療サービスが入院費などの値上がりにより(+) 4. 5%の上昇となっている。
- 交通通信は100. 1となり、3年平均に比べ(-) 0. 3%の下落となった。
内訳をみると、交通は鉄道運賃(JR以外)などの値上がりにより(+) 3. 2%と上昇したものの、通信が通話料の値下がりにより(-) 2. 1%、自動車等関係費が自動車ワックス、ガソリンなどの値下がりにより(-) 1. 3%の下落となっている。
- 教育は108. 5となり、3年平均に比べ(+) 3. 7%の上昇となった。
内訳をみると、授業料等がPTA会費(小学校)、私立中学校授業料などの値上がりにより(+) 4. 7%、教科書・学習参考書が学習参考書(数学、国語)の値上がりにより(+) 0. 7%の上昇、補習教育が学習塾の値上がりにより(+) 2. 2%の上昇となっている。

○ 教養娯楽は106.3となり、3年平均に比べ(+)3.3%の上昇となった。

内訳をみると、教養娯楽用耐久財が学習机、ギター、ステレオなどの値上がりにより(+)1.8%の上昇、他の教養娯楽が釣竿、セロハン粘着テープ、新聞代などの値上がりにより(+)3.6%の上昇となっている。

○ 諸雑費は102.5となり、3年平均に比べ(+)1.3%の上昇となった。

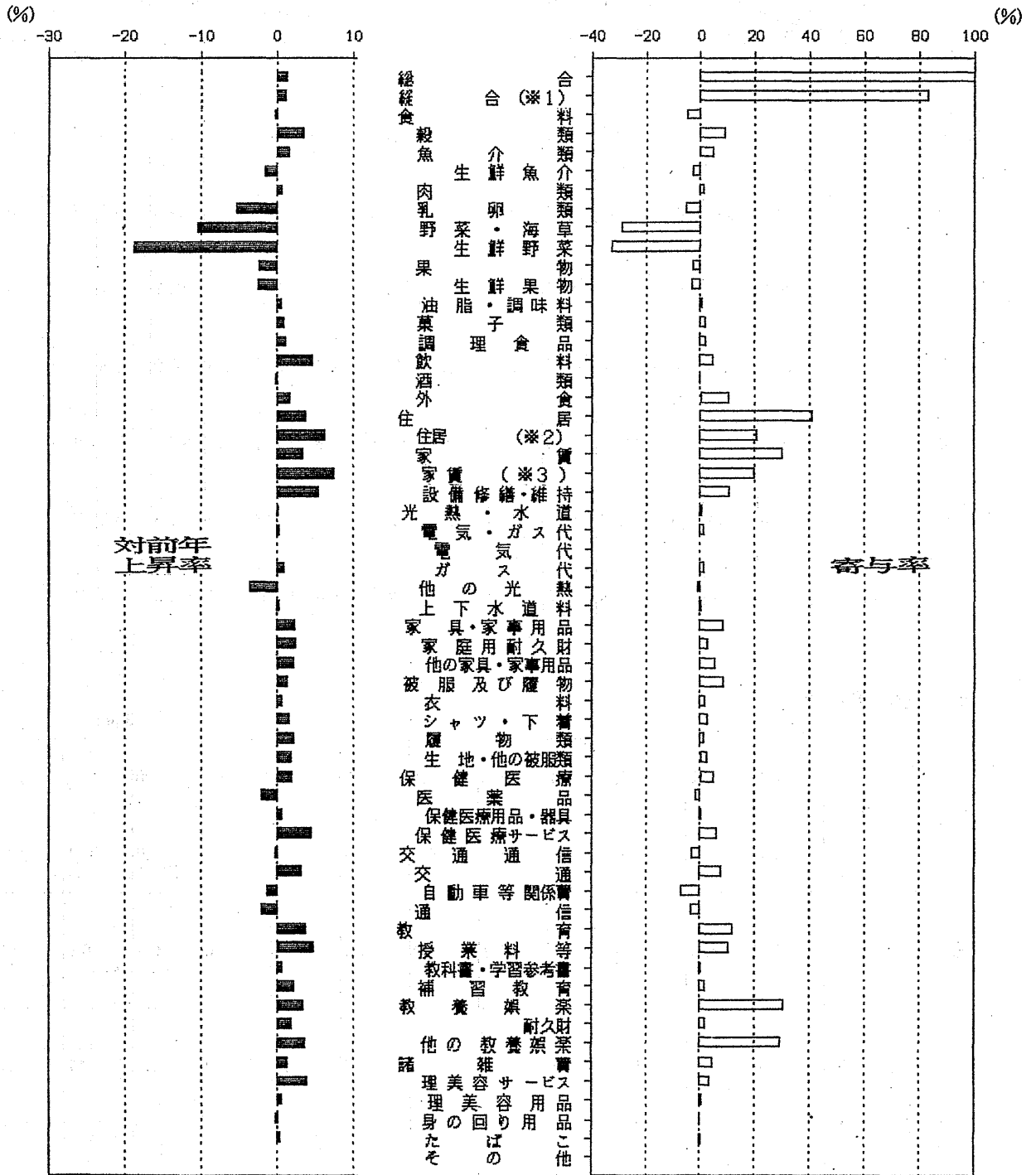
内訳をみると、理美容サービスが入浴料などの値上がりにより(+)3.8%、理美容用品が乳液、クリームなどの値上がりにより(+)0.5%、身の回り用品は腕時計が値下がりしたもの、学生用鞆、ハンカチーフが値上がりしたため前年と変わらなかった。タバコは(+)0.4%の上昇となっている。

4. 寄与率

各分類の上昇率が、総合指数の上昇率(+)1.3%に影響を及ぼした主なものを大分類で寄与率をみると上昇の寄与率は、住居(+)40.6%、教養娯楽(+)30.3%、教育(+)11.8%、被服及び履物(+)8.6%、家具・家事用品(+)8.3%の上昇となっており、下落の寄与率は食料(-)4.9%、交通・通信(-)2.9%となっている。

中分類に主なものをみると、上昇の寄与率は、他の教養娯楽(+)29.3%、家賃(+)20.7%、設備修繕・維持(+)10.6%、授業料等(+)10.1%となり、下落の寄与率は、野菜・海草(-)29.0%、自動車等関係費(-)7.1%、医薬品(-)1.6%となっている。

図4 消費者物価指数の上昇率と寄与率



※1 持ち家の帰属家賃を除く総合
 ※2 持ち家の帰属家賃を除く住居
 ※3 持ち家の帰属家賃を除く家賃

表1 総合指数と対前年上昇率の推移

平成2年=100

	県				全 国					県				全 国			
	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除く 総合	対前年 上昇率 (%)	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除く 総合	対前年 上昇率 (%)		総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除く 総合	対前年 上昇率 (%)	総合 指数	対前年 上昇率 (%)	持家の 帰属家 賃を除く 総合	対前年 上昇率 (%)
昭和54年	-	-	75.8	3.3	75.8	3.7	76.2	3.6	61	94.4	0.4	94.6	0.3	94.1	0.6	94.5	0.4
55	-	-	82.4	8.7	81.7	7.7	82.3	8.0	62	94.4	0.0	94.3	-0.3	94.2	0.1	94.4	-0.2
56	-	-	86.8	5.4	85.6	4.9	86.3	4.9	63	95.0	0.6	94.9	0.6	94.9	0.7	94.8	0.5
57	-	-	89.3	2.9	88.0	2.8	88.6	2.7	平成元年	97.3	2.4	97.1	2.3	97.0	2.3	97.0	2.3
58	-	-	90.5	1.3	89.6	1.9	90.3	1.9	2	100.0	2.8	100.0	3.0	100.0	3.1	100.0	3.1
59	-	-	92.6	2.4	91.7	2.3	92.3	2.2	3	103.0	3.0	103.0	3.0	103.3	3.3	103.3	3.3
60	94.0	-	94.3	1.8	93.5	2.0	94.2	2.1	4	104.3	3.0	103.0	3.0	105.0	1.6	105.0	1.6

表2 対前年同月上昇率

単位：%

年	月	平成	4.1	4.2	4.3	4.4	4.5	4.6	4.7	4.8	4.9	4.10	4.11	4.12
		／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／	／
			3.1	3.2	3.3	3.4	3.5	3.6	3.7	3.8	3.9	3.10	3.11	3.12
総 合	県		1.4	1.4	1.1	1.8	1.7	1.9	1.4	1.3	1.6	0.8	0.6	0.8
	全 国		1.8	2.0	2.0	2.4	2.0	2.3	1.7	1.7	2.0	1.1	0.7	1.2
持 家 を 除 く 帰 属 家 合	県		1.2	1.5	1.2	1.7	1.7	1.9	1.3	1.1	1.4	0.5	0.3	0.5
	全 国		1.7	2.0	1.9	2.4	2.0	2.2	1.5	1.6	2.0	1.0	0.4	0.9

表3 5市平均中分類指数・寄与度・寄与率

平成 2年=100

	指 数		対前年上昇率 (%)		寄与度	寄与率 (%)
	平成3年平均	平成4年平均	平成3年平均	平成4年平均	平成4年	平成4年
総 合 (※1)	103.0	104.3	3.0	1.3	1.262	100.0
食 料 類	103.0	104.2	3.0	1.2	1.051	83.3
穀 類	103.9	103.7	3.9	-0.2	-0.062	-4.9
魚 介 類	102.0	105.6	2.0	3.5	0.112	8.9
生 鮮 魚 介 類	104.1	105.8	4.1	1.6	0.058	4.6
肉 類	101.6	100.0	1.6	-1.6	-0.032	-2.5
乳 卵 類	100.7	101.4	0.7	0.7	0.016	1.3
野 菜 類	104.2	98.8	4.2	-5.2	-0.066	-5.2
生 鮮 野 菜 類	108.7	97.4	8.7	-10.4	-0.366	-29.0
果 物 類	110.7	90.0	10.7	-18.7	-0.410	-32.5
生 鮮 果 物 類	108.1	105.6	8.1	-2.3	-0.034	-2.7
生 鮮 果 物 類	107.6	104.9	7.6	-2.5	-0.036	-2.9
油 脂 類	110.4	110.9	10.4	0.5	0.005	0.4
菓 子 類	104.6	105.5	4.6	0.9	0.023	1.8
調 理 食 品 類	104.5	105.6	4.5	1.1	0.026	2.1
飲 酒 類	102.9	107.6	2.9	4.6	0.056	4.4
外 食 類	102.5	102.4	2.5	-0.1	-0.001	-0.1
外 食 類	101.8	103.5	1.8	1.7	0.130	10.3
住 居 (※2)	102.7	106.5	2.7	3.7	0.513	40.6
家 賃 (※3)	104.5	111.1	4.5	6.3	0.261	20.7
家 賃 (※3)	102.1	105.5	2.1	3.3	0.379	30.0
設 備 修 繕 維 持	102.8	110.4	2.8	7.4	0.246	19.5
設 備 修 繕 維 持	105.5	111.2	5.5	5.4	0.134	10.6
光 熱 水 道	105.0	105.1	5.0	0.1	0.005	0.4
電 気 ガ ス 代 代	104.9	105.2	4.9	0.3	0.013	1.0
電 気 ガ ス 代 代	100.0	100.0	0.0	0.0	0.000	0.0
ガ ス 代 代	112.0	113.0	12.0	0.9	0.017	1.3
他 の 光 熱 料	114.3	110.2	14.3	-3.6	-0.012	-1.0
上 下 水 道 料	102.1	102.3	2.1	0.2	0.002	0.2
家 具 ・ 家 事 用 品	101.2	103.5	1.2	2.3	0.105	8.3
家 庭 用 耐 久 財	99.8	102.2	-0.2	2.4	0.035	2.8
他 の 家 具 ・ 家 事 用 品	101.9	104.1	1.9	2.2	0.064	5.1
被 服 及 び 履 物 料	103.8	105.1	3.8	1.3	0.108	8.6
衣 料	103.3	103.9	3.3	0.6	0.023	1.8
シ ャ ツ ・ 下 着	102.1	103.6	2.1	1.5	0.034	2.7
履 物 類	106.7	109.0	6.7	2.2	0.017	1.3
生 地 ・ 他 の 被 服 類	106.3	108.2	6.3	1.8	0.030	2.4
保 健 医 療	101.0	102.9	1.0	1.9	0.059	4.7
医 薬 品	101.7	99.6	1.7	-2.1	-0.020	-1.6
保 健 医 療 用 品 ・ 器 具	102.5	103.2	2.5	0.7	0.004	0.3
保 健 医 療 サービス	100.2	104.7	0.2	4.5	0.073	5.8
交 通 通 信	100.4	100.1	0.4	-0.3	-0.036	-2.9
交 通 通 信	100.6	103.8	0.6	3.2	0.096	7.6
交 通 車 等 関 係 費	101.0	99.7	1.0	-1.3	-0.089	-7.1
通 信	98.1	96.0	-1.9	-2.1	-0.042	-3.3
教 育	104.6	108.5	4.6	3.7	0.149	11.8
授 業 料 等	104.5	109.4	4.5	4.7	0.128	10.1
教 科 書 ・ 学 習 参 考 書	107.5	108.2	7.5	0.7	0.002	0.2
補 習 教 育 料	104.0	106.3	4.0	2.2	0.022	1.7
教 養 娯 楽	102.9	106.3	2.9	3.3	0.382	30.3
教 養 娯 楽 用 耐 久 財	99.3	101.1	-0.7	1.8	0.022	1.7
他 の 教 養 娯 楽 費	103.3	107.0	3.3	3.6	0.370	29.3
諸 雑 費	101.2	102.5	1.2	1.3	0.056	4.4
理 美 容 サービス	102.4	106.3	2.4	3.8	0.046	3.6
理 美 容 用 品	100.5	101.0	0.5	0.5	0.006	0.5
身 の 回 り 用 品	101.9	101.7	1.9	-0.2	-0.001	-0.1
た そ ぼ の 他	100.1	100.5	0.1	0.4	0.004	0.3
た そ ぼ の 他	100.0	100.0	0.0	0.0	0.000	0.0

※1 持家の帰属家賃を除く総合
 ※3 持家の帰属家賃を除く家賃

※2 持家の帰属家賃を除く住居